

新年あけましておめでとうございます



中頓別町長
小林 生吉

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が起きました。厳しい災害の現場の様子に心が痛み、苦しい思いが続いたことが忘れられません。秋には追い打ちをかけるような豪雨災害も発生しました。あらためて震災で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに被災したすべての方々にお見舞いを申し上げます。

いつ何が起こるかわからないことを再認識するとともに災害への備えの大切さを心に刻み、町民のみなさんが安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていきたいと思えます。

昨年は特別養護老人ホーム長寿園及び養護老人ホーム長寿園が町営化し、医療と介護にかかる施設やサービスのすべてを町が一体的に担う体制となりました。いずれも厳しい運営状況にありますが、現場を懸命に支えてくれている職員が働きがいをもって患者やサービス利用者みなさんに寄り添い、支えていけるような施設づくりを進めていきたいと思えます。また、将来も安心して暮らし続けていけ

るよう、地域医療提供体制と地域包括ケアの一体的見直しに取り組んでいきます。

中頓別学園の建設事業については、12月の工事入札が中止となったことをご心配をおかけしていると思います。

建設価格の上昇が続いていて、それを見込んで入札予定価格を設定しましたが、実勢価格の急上昇がそれを上回ったものと推察されます。今後は状況の分析を行い、新しい学びの拠点づくりのため、予定通りの事業が進められるよう最大限の努力を行っていきたいと考えています。

人口減少や高齢化、またそれにともなった課題等が山積していますが、このような時代だからこそ、私たちの町の

可能性を見つめ直し、新たな未来を切り拓く時でもあると考えています。教育、子育て支援、そして働く場の創出に力を注ぎ、子どもたちや若者が「この町で暮らしたい、働きたい」と思えるような地域づくりを進め、世代を超えた活気がよみがえるよう全力を尽くしていきます。

最後になりますが、地域の未来を築くには、行政だけでなく、町民一人ひとりの力が欠かせません。本年も皆さまの声を丁寧にお聞きしながら、共に歩んでいきたいと思えます。どうか本年が、皆さまにとって実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



中頓別町議会議長
星川 三喜男

町民の皆様、新年明けまして
おめでとうございます。

輝かしい令和7年の新春を町
民の皆様と共に迎えられますこ
とを心よりお慶び申し上げます。

また、平素より町民の皆様か
ら議会に寄せられますご支援、
ご協力に心から感謝申し上げます。

昨年1月1日に発生いたしま
した「令和6年能登半島地震」
では、多くの尊い命が犠牲とな
り、現在も多くの皆さまが避難
生活を余儀なくされております。
ここに、犠牲になられた方々の
ご冥福をお祈り申し上げますと
ともに、一日も早い復興をお祈
り申し上げます。

10月に行われた衆議院議員選
挙では、派閥裏金事件で厳しい
批判を受けた自民党は連立政権
を組む公明党と共に大敗し、過
半数を割り込みました。立憲民
主党は躍進し、国民民主党の議
席は公示前の4倍となり、今後
の政権運営に対して期待と不安
となる結果になったと思います。

世界に目を向けますと、未だ
に続いていますロシア軍による
ウクライナ侵攻により、多くの
犠牲者が発生しています。終息
の目途が立たない状況となつて
いますが、さらに多くの犠牲者
が出ないよう早期の解決を願う
ばかりです。

また、円安、物価高により我
が国の経済に大きな影響を与え、
エネルギーの安定供給など多く
の課題が山積しています。

本町におきましては、建設費
高騰、人手不足及び都市部の再
開発などの影響により、中頓別

学園整備工事の入札が中止とな
りました。中頓別学園整備事業
については、建設費などがどこ
まで膨れ上がるのか注視すると
ともに、将来の財政状況などの
計画と照らししっかりと裏付け
されるまで、議会として議論を
深めていく所存でございます。

また、建設する規模についても、
将来の人口推計により現在計画
されているものが本当に妥当な
ものか、町民皆様のご意見を聴
き、幅広い見地から意思決定を
していきたいと考えていますの
で、今後住民アンケート及び住
民懇談会など、議会で実施した
際には多くの住民のご意見、ご
要望をお聞かせいただければ幸
いでございます。

中頓別学園整備事業だけでは
なく将来的にも病院の建替えや
上下水道の維持管理など多くの
課題が山積しています。このよ
うなことを踏まえ、本町議会で

は、昨年の定例会で、議会運営
委員会提案により、「議会改革特
別委員会設置に関する決議」を
全会一致で可決、様々な課題に
ついて調査、研究し議会を活性
化するために設置しました。

議員一人ひとりが、今後一層
の高齢化が進み、人口減少対策
に向けた地方創生の取り組みを
推し進める最前線に立ち、町長
とともに町民の直接選挙で選ば
れる議員の役割を果たしてい
なければなりません。町民の負
託に応え、信頼される意思決定
機関として、今後ともその使命
を果たしてゆく所存ですので、
町民のみなさまには、これまで
同様のご指導ご鞭撻を賜ります
ようお願い申し上げます。

今年も皆様にとつてより良い
年でありますようご祈念申し上
げ、年頭にあたつてのご挨拶と
いたします。